

製品名: プラスチン L ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86495**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:70 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	Plastin L
別名	LPL; CP64; PLS2; LC64P; HEL-S-37; L-PLASTIN
遺伝子 ID	3936
SwissProt ID	P13796
免疫原	ヒトプラスチン L の合成ペプチド

背景

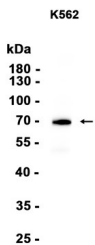
プラスチンは、真核生物の進化の過程を通じて保存され、高等真核生物のほとんどの組織で発現するアクチン結合タンパク質ファミ

リーです。ヒトでは、2つの普遍的なプラスチンアイソフォーム (LおよびT) が同定されています。プラスチン 1 (別名フィンブリ
ン) は、小腸で特異的に高発現する3つ目の異なるプラスチンアイソフォームです。Lアイソフォームは造血細胞系統でのみ発現しま
すが、Tアイソフォームは複製能を持つ固形組織の他のすべての正常細胞 (線維芽細胞、内皮細胞、上皮細胞、メラノサイトなど) で
確認されています。しかし、L-プラスチンは造血系以外の多くの種類の悪性ヒト細胞で確認されており、固形組織における腫瘍形成
に伴ってその発現が誘導されることを示唆しています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Plastin L ウサギモノクローナル抗体を使用した K562 細胞抽出物のウェスタン
プロット分析。